

## 戦争に対する私たちの考えとあり方について

2022年3月1日

日本ソーシャルワーカー協会倫理委員会

- ・私たちは、「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」及び「ソーシャルワーカーの倫理綱領」の理念を遵守するソーシャルワーク専門職団体として、また犠牲と困難にある人々を支援し代弁する立場として、戦争に対する我々の認識を明確にし、発動中の戦争及びその試みすべてに対し即時中止と永遠の放棄を求め、その防止に向けた、可能な限りの取り組みと地域社会における連携を呼びかける。

### <戦争について>

- ・戦争という政治的行為は、領土問題や経済摩擦、その他様々な理由により、それらを解決する外交的あるいは内政的な問題解決の手段として現在も世界各地で発動され、今後も新たな可能性が否定できない状況にある。
- ・しかし戦争は、一般の国民が、政治的な方針に従って武器をもって互いに殺し合し、殺戮し合うものであり、その結果は、軍人のみならず、多くの罪のない市民のかけがいのない命を奪い、人々の平和な生活を根底から破壊するものである。
- ・また戦争は、勝者・敗者に関わらず、取り返しのつかない苦しみ、心の傷、悲しみをもたらし、国際社会の混乱や連鎖反応の不安に陥れるものであり、いかなる理由であれ、社会正義、人権、人間の尊厳等の観点から容認されるものではない。

### <私たちの認識>

- ・私たちは、すべての人々が、国籍や民族、思想を問わず、それぞれの場所において互いに愛し合い、家族や友人と共に生き、恒久平和と安定を望み、問題解決における暴力や武器の使用、その究極の形である戦争を決して望んでいないものと認識する。
- ・そして、すべての人々が、問題解決にあたる政治指導者に対し、戦争という手段によらず、知恵と忍耐による話し合いによる解決を強く希望し、国際社会においても切望されているものと認識する。

### <一般市民としての呼びかけ>

- ・私たちは、一般市民として、常に正しいグローバルな情報収集に努め、世界市民として現状を正しく認識し、必要に応じて声をあげ、特に戦争という武力による問題解決を強く否定し、連帯して世界の平和構築に向けた社会的環境づくりを呼びかける。
- ・私たちは、すべての戦争による犠牲者の死を悼み、その家族の思いを共有し、憎しみは新たな憎しみを・暴力は新たな暴力を・戦争は新たな戦争を生み出すという認識に立ち、尊い命と悲しみを代償とする戦争のむなしさと排除の呼びかけ、家庭や地域社会における認識の共有と連帯を呼びかける。

### <専門職として>

- ・私たちは、ソーシャルワーカーとして、戦争が、「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」にいう社会正義、人権、集団的責任、多様性の尊重の原理に反することを認識し、全面的に反対することを強く言明する。
- ・また、戦争の発動やその可能性について常に関心に向け、「ソーシャルワーカーの倫理綱領」に基づき、反対の意志を明確に表示するとともに、社会的結束を図り、その防止・廃止のための必要な行動をとることを確認する。